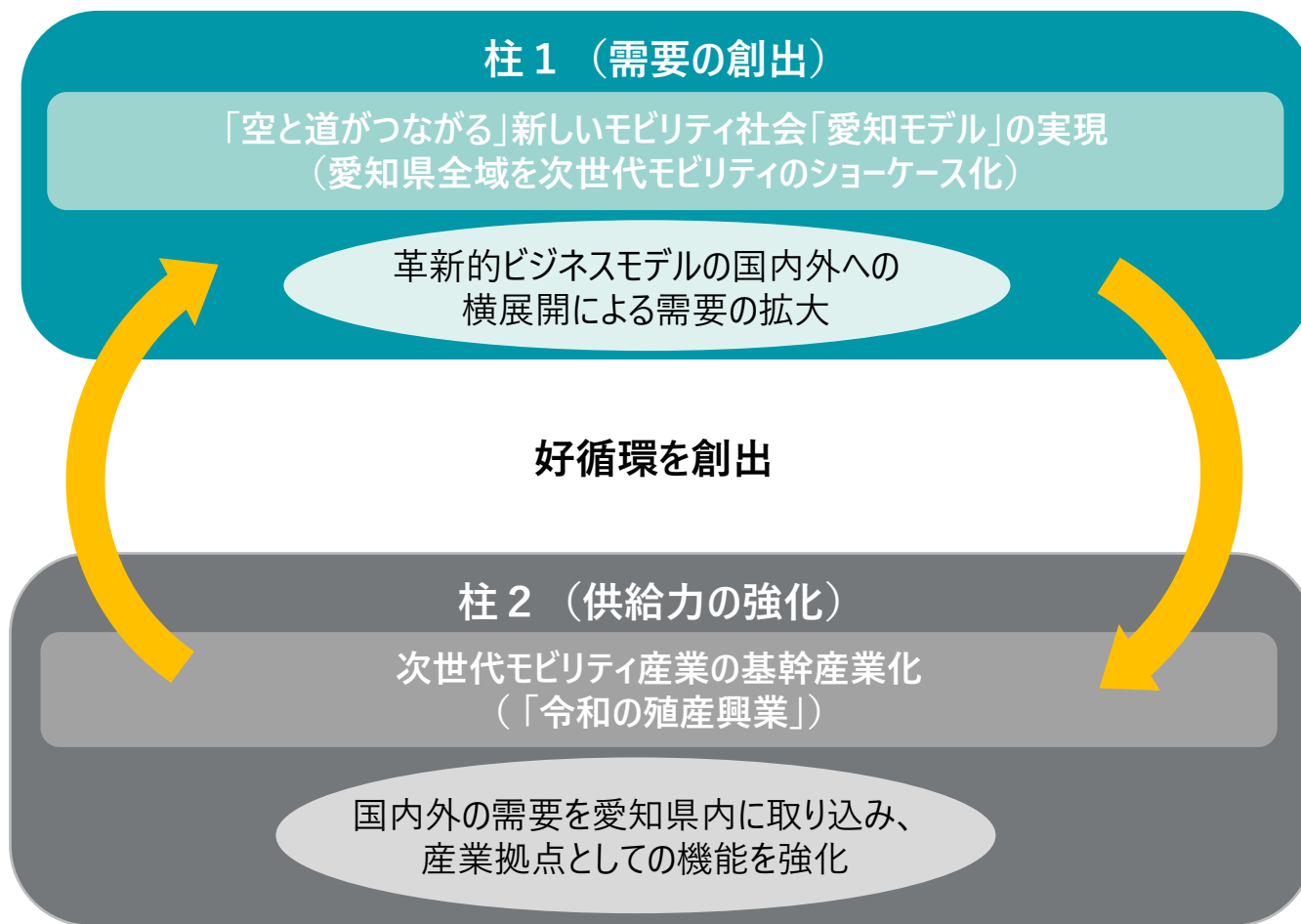


プロジェクトの進捗について

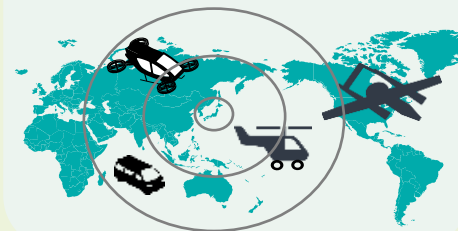
1. 各事業の動き

プロジェクトの目指す姿（2030年度頃）

- 革新的ビジネスモデルを生み出し、そのモデルを国内外へ横展開することで、次世代モビリティの需要を拡大させる。その需要を愛知県に取り込み、産業拠点としての機能を強化させる好循環を創出することで、「空と道がつながる」新しいモビリティ社会「愛知モデル」及び次世代モビリティ産業の基幹産業化（「令和の殖産興業」）を実現。



インフラ輸出

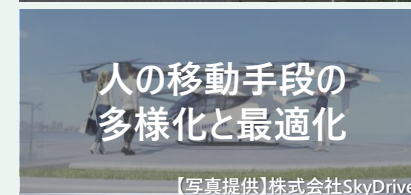


社会課題の解決

物流クライシスの解決



人の移動手段の 多様化と最適化



災害時にドローンが人々 を助ける仕組みの構築



①ドローンによる物流サービス（物流ローンチモデル）

目的：物流ドローンの先行導入事例を創出するとともに、課題の抽出・分析を行う。

メンバー：名古屋鉄道、プロドローン、中北薬品

現在の進捗状況

今年度末までの取組

■ドローンを活用した物流サービスの長期事業化調査

物流ドローンを活用した配送サービスを約1か月間提供する実証実験を県内2か所（西尾市、新城市）で実施。うち1か所で実施済み。

→議題(1)で報告済

- ドローンを活用した多頻度配送実証実験（西尾市）
 - 期間：10月7日～11月5日
 - 場所：一色漁港～佐久島間
 - 配送物：一色漁港→佐久島：日用品、食料品、医薬品
佐久島→一色漁港：特産品
 - 運航体制：名古屋鉄道、プロドローン
 - 運航方法：レベル3.5飛行（定期運航とオンデマンド運航）
 - 検証内容：①配送方法による利便性・採算性検証
②専門操縦士を配置しないことによる運用コスト検証
③離着陸オペレーション技術の検証

引き続き、今月27日から新たに1か所で実施。西尾市での検証の結果に加え、飛行プラン自動作成システムを用いて、効率的な飛行ルートの作成技術を検証する。

- 河川上空を航路とした複数目的地配送（新城市）
 - 期間：11月27日～12月26日
 - 場所：新城市（有海～副川、只持、玖老勢周辺）
 - 配送物：市街地→山間地：医薬品、日用品
山間地→市街地：農産物
 - 運航体制：名古屋鉄道、プロドローン、中北薬品
 - 運航方法：レベル3.5飛行
 - 検証内容：①複数拠点への連続配送による飛行効率・採算性検証
②専門操縦士を配置しないことによる運用コスト検証
③飛行プラン自動作成システムを用いた効率的な飛行ルート作成技術の検証。
- 先行導入事例の作成、成果発表
実証実験の成果をとりまとめ、離島及び山間地における物流ドローンの社会実装モデルを構築。

②ドローンを用いたサービス運営事業者参入支援（物流ローンチモデル）

目的：事業性が見込める事業案の導出と想定顧客に対する導入喚起を行い、ドローン物流の需要家・運営事業者の参入を促進するためのモデルケースを作成する。

メンバー：デロイト トーマツコンサルティング

現在の進捗状況

■日本における物流ドローンの外形調査

- 日本におけるドローン市場規模分析
- ドローン物流先進事例に係る国内外調査

■愛知県内の有望ユースケース抽出・市場規模推計

- 検討内容
 - ① アンケート・ヒアリングによる愛知県内のBtoB, BtoC領域における物流ニーズ・課題調査の実施
 - ② 統計データを活用した県内のドローン物流需要量の算出
 - ③ ニーズ検証を踏まえた有望ユースケースの評価・特定

今年度末までの取組

■有望ユースケースにおける事業化要件の特定

利活用機運の醸成・事業者参入につなげるため、事業者へのヒアリングを通じて以下を検討する。

- 検討内容
 - ① 有望ユースケースのビジネスモデル構築・課題抽出
 - ② 詳細オペレーション・運営要件調査
 - ③ 事業性検証

■web/冊子上に調査結果を公表し、事業者参入促進に向けて発信

③空飛ぶクルマによる遊覧飛行（人流ローンチモデル）

目的：愛知県における空飛ぶクルマの飛行ルート・バーティポート整備場所の想定及び遊覧飛行実施場所の選定を行う。

メンバー：長大、名古屋鉄道、SkyDrive、デロイトトーマツコンサルティング

現在の進捗状況

■愛知県における空飛ぶクルマの早期社会実装に向けた調査

愛知県における空飛ぶクルマの飛行ルート・バーティポート整備場所の想定及び遊覧飛行実施場所の適地調査。

→議題(2)で報告済

- 観光統計・人流データ等を用いた愛知県における空飛ぶクルマの飛行ルート・バーティポート整備場所の想定
- 遊覧飛行実施場所の適地調査

エリア（50音順）	主な理由
愛・地球博記念公園	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 近年来客数が増加しており高い普及啓発効果が見込まれる ✓ インバウンド需要が比較的高い
名古屋港	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 再開発により集客増が見込まれる ✓ インバウンド需要が比較的高い
名古屋城	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 観光客の滞在時間が長い ✓ インバウンド需要が高い

今年度末までの取組

■遊覧飛行実施場所の選定

遊覧飛行実施場所の選定に向けた調査を実施する。

- 調査内容
 - 安全性、眺望、拡張性、早期実現可能性の観点により遊覧飛行実施場所の仮選定を行う

■遊覧飛行事業化に向けた調査

遊覧飛行実施場所におけるバーティポートの整備や運行サービスの開始に向けた各種調査を実施する。

- 調査内容
 - ① 遊覧飛行候補地に係る環境調査、社会受容性調査
 - ② 事業実施体制の整理
 - ③ 離着陸場整備計画案の策定

④ 平時・災害時の両面におけるドローンの利活用（災害対応ローンチモデル）

柱1 需要の創出

目的：愛知県における災害時のドローン利活用モデルを策定するとともに、平時でのビジネス運用に向けた検討を実施する。

メンバー：テラ・ラボ、デロイトトーマツコンサルティング、プロドローン、名古屋鉄道、中日本航空

現在の進捗状況

■愛知県版ドローン災害時利活用モデルの策定

能登半島地震をベンチマークとした災害時におけるドローンの利活用の円滑化に向けたスキーム構築

➤ 検討内容

- ① 能登半島地震におけるドローン利活用に関する関係者へのヒアリング
- ② 防災関係機関やインフラ企業を対象とする「能登半島地震におけるドローン活用可能性」をテーマとしたワークショップを開催。県内基礎自治体13団体が参加（9月12日）

■平時のデジタルマップ利活用検討

平時においてドローンにより作成するデジタルマップのビジネス利用の可能性について検討

➤ 検討内容

- ① インフラ企業等を対象とするヒアリングの実施
- ② 実装に向けたビジネスモデル検討

今年度末までの取組

災害時のドローン活用事例紹介、デジタルマップ・ドローン利活用のスキームのとりまとめを実施予定。

➤ 検討内容

- ① 愛知県版ドローン災害モデルの具体検討に関するワークショップの開催（12月予定）
- ② 最終報告会の開催（2月予定）

平時においてドローンにより作成するデジタルマップのビジネス利用の可能性について引き続き検討するとともに、とりまとめを実施予定。

➤ 検討内容

- ① ワorkshopの開催（12月予定）
- ② とりまとめの実施

⑤ サプライチェーン構築に向けた取組

目的：自動車・航空機産業のドローン・空飛ぶクルマ産業への巻き込み

メンバー：デロイトトーマツコンサルティング、プロドローン、ジェイテクト、VFR

現在の進捗状況

■ ドローンのサプライチェーン構築に向けた調査・検討

国内・海外の比較等により競争力を持つドローンの部材を特定するとともに、既存産業の巻き込みを図る

➤ 検討内容

- ① 研究/量産ターゲット部材の特定
- ② 参入可能性のある業種・企業候補の特定
- ③ 参入にあたっての障壁の特定・解決策の提案

➤ 検討内容

- ① ドローン研究・開発に関する有識者による検討会「十傑会議」を開催（事前含め計3回実施）。
- ② 日本ドローン産業の強み（部品（センサー、カメラ等）、素材（カーボン、金属）、組み込みソフトウェア、スキルカスタム化、造形技術）を活かした、ターゲットとなる機体や部材の特定を検討。
- ③ ターゲットとなる機体や部材を導出し、実現に向けた要件や課題解決策を議論。

今年度末までの取組

引き続き、十傑会議の開催を通じ、愛知県におけるドローン産業のあるべき姿について検討を継続。

➤ 検討内容

- ① 導出された機体や供給部品以外に物流領域や低価格/高品質領域での勝ち筋の検討。
- ② 愛知ドローン産業における議論の実施
 - ・ターゲット部材生産に必要な企業等の能力、当該能力を持ち得る企業等の候補の調査・検討
 - ・ターゲット企業の誘致、参入に向けたアクションプラン

■ 空飛ぶクルマのサプライチェーン構築に向けた調査・検討

将来的な空飛ぶクルマ産業への既存産業の巻き込みを図る。

➤ 検討内容

- ① 空飛ぶクルマの性能向上に向けた研究の洗い出し
- ② 参入可能性のある業種・企業候補の特定
- ③ 企業等へのヒアリング

⑥ドローンエンジニア人材育成に向けた体制構築

目的：ドローンエンジニア人材創出に向けた体制整備

メンバー：パーソルビジネスプロセスデザイン、プロドローン

現在の進捗状況

今年度末までの取組

■カリキュラム・テキスト作成

ドローンエンジニア人材育成のために必要となる、知識や技術を体系化したカリキュラムとテキストを作成。

➤ 検討内容

- ① ドローン機体メーカー、ドローン活用サービス事業者、ドローンスクール等の有識者による検討会を開催（3回実施済）。
- ② 担い手育成編（学生向け）、新規参入事業者エンジニア育成編、機体トラブル対応・修理エンジニア育成編の3種類を作成中。
- ③ カリキュラムは概ね完成し、テキストを作成中。

➤ 検討内容

- ① 検討会参加企業への個別ヒアリングを実施予定。
- ② 有識者による検討会を引き続き開催し、年度内にテキストの最終版を完成予定。

■養成機関探索

県内での養成機関候補のリスト化とヒアリング項目を確定し、上記検討会参加企業へのヒアリングを開始。

➤ 検討内容

- ① カリキュラムやテキストの活用意向の有無
- ② 構成内容やレベル、適正感の調査
- ③ 追加すべき項目の確認
- ④ 実現に際して必要な支援

➤ 検討内容

- ① 検討会参加者以外へのヒアリングの実施
- ② エンジニア育成事業の導入計画を作成予定

⑦ドローン・空飛ぶクルマの社会実装に向けた課題・法令等の整理及び関係機関への提案

目的：次世代空モビリティのユースケース毎に、社会実装のボトルネックとなっている法令・制度の洗い出しや、ビジネスとして自立していくまでに必要となる支援施策について検討し、関係各機関への働きかけに資する資料を作成する。

メンバー：デロイトトーマツコンサルティング等

現在の進捗状況

今年度末までの取組

■社会実装に向けた課題・関連法令の洗い出し

10を超えるユースケースを対象に、事業者ヒアリングも実施しつつ、洗い出しを実施。法令・制度改正や支援施策創設の実現に向けた関係機関への働きかけに向けた検討を実施。

■関係機関への働きかけに資する資料の作成

左記で検討・整理した課題・法令等や改正・解決の方向性についてとりまとめた資料を作成、働きかけ方法の検討を実施予定。

関係機関への働きかけを行う項目の候補（現時点）

機体	ユースケース	国への要請案候補
ドローン	中山間集落配送 インフラ点検（山岳等）	スタンドアロン型ドローンの開発支援
	中山間集落配送	ポート整備に向けたガイドライン作成
	中山間集落配送 都市部配送 公共測量データ収集	1対多運航/レベル4を可能とする実証特区の設置及び当該モデルの制御システム確立/制度設計の推進
	都市部配送	「空」と「地上」の統合管理システムの構築に向けた枠組みの設立と包括的な支援獲得/実証環境の整備
空飛ぶクルマ	共通	バーティポート増設に向けた財政援助の拠出
		社会実装加速化を推進する空飛ぶクルマの既存レギュレーション見直しに向けた実証環境の整備
	空港二次交通	空港内における空飛ぶクルマの最適な運用オペレーション構築及びガイドライン作成 （県営名古屋空港等の活用に向けた実証環境整備含む）
	救命救助/緊急搬送等	医療ユースケースにおけるオペレーション検討及びインフラ整備

⑧ 社会受容性拡大に向けた取組

目的：国内外のモビリティ関係者、メディア関係者、地域住民の次世代空モビリティに対する社会受容性を高めること。

メンバー：電通名鉄コミュニケーションズ

現在の進捗状況

■メッセナゴヤ2024への出展

「あいちモビリティイノベーションプロジェクト「空と道がつながる愛知モデル2030」」のブースを出展。

期間：10月30日～11月1日

内容：機体展示（実機、模型）、パネル展示、
動画放映、パンフレット配布 等

実績：総来場者数は52,742名
1,621名がブースに来場、アンケート155件回答



今年度末までの取組

■県内各地でのイベント出展

県内各地で開催される多くの地域住民が参加するイベントにおいて次世代空モビリティの普及啓発活動を実施。

➤ アンケートを実施し、結果を踏まえ、今後の普及啓発活動に反映していく予定。

刈谷市	刈谷産業まつり（10月20日） 657名来場、210名が空飛ぶクルマやドローンのVRを体験
西尾市	きらまつり（11/9,10開催） 535名来場、150名がドローン操縦体験を実施
長久手市	長久手楓まつり（11/10開催） 342名来場、140名がドローン操縦体験を実施
新城市	おしごと体験フェス（12月7日予定）
豊山町	名古屋航空文化フェスタ2025（2月15日予定）



西尾市のイベントの様子

2. ネットワークメンバーとの連携について

ネットワークメンバーとの連携について

- 2024年度からはネットワークメンバーとの連携を強化
- 10/22のネットワークメンバー交流会をキックオフとしてプロジェクトの取組をさらに拡大

① 事業での連携

- 物流・人流・災害対応の各ローンチモデルの実現に向けた取組など事業に参画し協力

② 定期的な情報提供

- プロジェクトの関連情報をソラミチ通信（メルマガ）にて配信

③ イベントでの連携

- メンバー・ネットワークメンバー同士の交流会を実施（10/22に実施）
- 展示会や市町村イベント等への参加や、委託事業で実施されるワークショップ等への参加について今後検討

<ネットワークメンバー>

(株)アイシン、イームズロボティクス(株)、NTTコミュニケーションズ(株)、オリックス(株)、近鉄グループホールディングス(株)、KDDIスマートドローン(株)、(株)JALエンジニアリング、GMOグローバルサイン(株)、(株)Suzak、住友理工(株)、損害保険ジャパン(株)、(株)長大、(株)東海理化、東京海上日動火災保険(株)、(株)トラジェクトリー、(株)名古屋銀行、(株)日本空港コンサルタンツ、(株)富士経済、ブルーイノベーション(株)、(株)レスター
※「企業名公表可」の企業のみ（五十音順）、2024年11月22日時点

（参考）空と道がつながる愛知モデル2030プロジェクト推進体制規約

（ネットワークメンバー）

第5条 座長は、プロジェクトの情報共有と事業連携を促進するため、P Tのメンバーとは別に、ネットワークメンバーを選任することができる。
2 ネットワークメンバーについて必要な事項は別に定める。

プロジェクトの取組拡大に向けネットワークメンバーの積極的な巻き込みを図るため、ネットワークメンバー交流会を開催

ネットワークメンバーの声（一例）

日時：2024年10月22日（火）10:30～12:00

場所：JPタワー37階 D forum（名古屋駅前）

内容：①交流会趣旨説明と参考事例紹介

②2024年度各事業の活動状況紹介

③プレゼンテーション

④STATION Aiオープニングイベントのご案内

⑤交流会（名刺交換会）

参加：90名（現地74名、オンライン16名）

事業会社A社

・ものづくりは1社でできない。ご一緒いただき、明るい未来を共創したい。

事業会社B社

・法令規制で認められていない事業があり、商用活用に向け、国（行政）への働きかけへ、ご協力頂きたい。

・一緒に要件検討や実証実験等にご協力頂きたい。

スタートアップC社

・国の事業等とりまとめをしているが、これほど包括的に取り組まれているのは愛知県だけだと思う。

座長による交流会趣旨説明の様子



交流会（名刺交換会）



(参考) 西尾市の長期事業化調査のキックオフセレモニー (10月7日)

1 当日の様子



2 報道状況

No.1	メディア	タイトル
1	テレビ愛知	離島の海産物が「ドローン」でやってきた 愛知県でドローン輸送の実証実験 物流業界が抱える問題解決へ
2	東海テレビ	レベル3.5では国内最長期間...島と本土つなぐ物流を『ドローン』の実証実験 2026年までの事業化を目指す
3	中日新聞	ドローン 離島の架け橋に
4	日刊工業新聞	西尾市・一色漁港—佐久島 愛知県、ドローン輸送
5	日本経済新聞	離島ドローン配送に商機

(参考) 2024年度は物流・人流・災害対応についてローンチモデル検討チームを組成し具体的な検討を開始

プロジェクトチームの体制

